

ハンズオンセミナー

【皮膚科医として糖尿病患者を切断から守るために必要な技術】

2018年12月1日(土) 9:25-11:25

オーガナイザー: 高山かおる(埼玉県川口済生会病院)

糖尿病壊疽は皮膚科医にとっても非常に診療する機会が多い疾患にもかかわらず、専門的な知識を学ぶ機会は決して多くない。予防から治療まで広く専門的にかかわれるようになるための基礎知識から除圧技術という応用編まで実際に手を動かして学ぶことのできるハンズオンセミナーを開催する。

講演: 寺部雄太(東京西徳洲会病院)

【糖尿病足病の特徴と除圧の基本】

糖尿病足病変は神経障害、末梢循環障害、感染症が単独ないし複合的にかかわって形成されるため、病変形成原因へのアセスメントが診療のためには重要である。白癬や胼胝・鶏眼などの病変から壊疽へと発展することは決してまれではないが、壊疽になってからそれらの皮膚病変への治療が十分だったかについて反省することも多く、日常診療内で十分にアセスメントできているとは言えない現状がある。神経障害が主な理由の場合には免荷・除圧が治療の中心となるが、実際には日常生活をおくるなかで治療を進めなければならず免荷除圧がままならないことも多い。また免荷・除圧のために義肢装具士や理学療法士の技術を結集する必要がある。

本ハンズオンでは適切なアセスメントのこつ、他業種との連携例やその方法、簡単にはじめられるフェルトをもちいた免荷除圧の方法を、ハンズオンや足底圧測定の体験など通して行う。

時間(所要時間)	内容	演者
9:25-9:30 (5)	はじめに	高山かおる先生 (済生会川口総合病院 皮膚科医)
9:30-10:15 (45)	講演 糖尿病足病の特徴と除圧の基本 ・ 糖尿病足病変の基礎知識 ・ 治療のアルゴリズム ・ アセスメント (血流、感染、デブリードメント) ・ 免荷と除圧法の基礎知識	寺部雄太先生 (東京西徳洲会病院 形成外科医)
10:15-10:55 (40)	実技 ・ 治療用装具作成の流れ ・ 免荷事例紹介 (実技)フェルトをもちいた除圧法	菱沼 遼先生 畑裕喜先生 樋口雄哉先生 (春日部中央総合病院 理学療法士)
10:55-11:15 (20)	実技 足底圧測定(希望者)	松本 拓也先生 (春日部中央総合病院 理学療法士)
11:15-11:25 (10)	質疑応答・アンケート記入	

共催: アルケア株式会社